

# 新型EVトラック導入

## 高崎でお披露目会



ヤマト運輸が導入した電気自動車(EV)小型トラック「eキャンター」の新モデル＝12日午後、高崎市

自動車(EV)小型トラック  
ヤマト運輸は12日、電気

ク「eキャンター」の新モデル導入に合わせた報道陣

向けのお披露目会を、高崎市の営業所で開いた。同社が2社のEVトラックを導入するのは初めて。2024年3月末までに全国で約900台を配備する。

三菱ふそうトラック・バス(川崎市)が開発したeキャンターは、一度の充電で約115キロ走行可能。小回りが利き振動や騒音が少なく、住宅街での集配に適している。地域の配達拠点から最終配送先までの区間での活用が想定されている。

ヤマト運輸は30年までの

EV2万台導入を目指し、小型トラックを中心に採用している。長尾裕社長は「環境に対する取り組みを進め、持続可能なビジネスの実現に力を尽くす」とあいさつした。